

8-4-31 環境専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の開催

令和6年4月より2ヶ月毎に1回の計6回開催し、技術部会等からの報告事項、依頼事項に関する審議、当専門委員会の活動及びイベントに関する協議を行った。また、同時に勉強会を実施し、「都市行政におけるカーボンニュートラルの取組」、「河川環境分野におけるインフラDX」、「第六次環境基本計画」、「自然関連財務情報開示タスクフォース」等について各ワーキング・グループより話題提供を受け、建設コンサルタントが担う役割等について意見交換を実施した。特に「第六次環境基本計画」については環境省総合政策課 黒部 環境計画室長を、「河川環境分野におけるインフラDX」については土木研究所自然共生研究センター 林田 主任研究員をお招きし、話題提供と意見交換を実施した。また、この2講演についてはライブラリーを作成し、協会員への情報提供も行った。

(2) 協会員を対象にした環境セミナーの開催

今年度は、広島県内にて「カーボンリサイクルの全体構想や最新動向」と題し、以下の講演会、現地見学会を開催した。なお、講演会はオンライン形式で会員会社に参加して頂き、現地見学会は環境専門委員会委員のみで実施した。

講演会：R6/11/11 14:10～17:40 参加者 105名

演題①：広島県を中心とする瀬戸内海沿岸地域でのカーボンリサイクル

講師①：広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授 市川 貴之 氏

演題②：広島県におけるカーボンリサイクル技術の推進について

講師②：広島県商工労働局イノベーション推進チーム 主任 平河 直也 氏

演題③：CO₂を原料とするカーボンニュートラルコンクリート

講師③：東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授 野口 貴文 氏

見学会：R6/11/12 7:00～14:00 参加者 19名

開催場所：カーボンリサイクル実証研究

拠点（広島県・大崎上島）

環境セミナー開催後、実施報告書をホームページに掲載した。講演会のライブラリーも作成し協会員への情報提供を行った。

(3) RCCM 更新テキスト(建設環境)の改訂

更新講習用のテキスト(PPT)について、最新情報に改訂すべき個所を抽出し、各委員で分担して追加更新を行い、演習問題も更新した。

(4) 協会本部、技術部会等からの依頼対応

a) 建設コンサルタント白書の執筆依頼対応

河川系WGの委員1名を選任した。グリーンインフラに関する部分の執筆を担当した。

b) 統括技術委員会、社会マネジメント技術委員会からの意見照会、情報提供依頼対応

c) 業務研究発表会一次審査員・運営補助

横断領域WGの委員1名を選任した。一次審査及び研究発表会当日の運営補助を務めた。

d) 対外活動委員会WG(水資源機構)委員受嘱 当専門委員長が受嘱し委員会対応した。

2. 外部団体の委員会等、委員受嘱

(1) 国交省「公共工事の環境負荷低減施策推進委員会」委員受嘱

・当専門委員長が受嘱し委員会対応した。

3. 次年度の活動について

建設コンサルタント業務の中で環境に関する相互の技術水準の向上を目的とし、技術動向や最新の知見を収集し、会員会社・発注者・関係団体等への情報発信を行う。

・専門委員会の開催：年6回(2ヶ月に1回)

・環境セミナーの開催：年1回(1会場)

・RCCM 更新テキスト(建設環境)の改訂

・環境専門委員会内の勉強会の実施

・外部講師を迎えての講演会の開催及び協会員への情報提供

・協会本部、技術部会等からの依頼対応

・外部団体からの意見照会、協力依頼対応

・その他：関連機関との意見交換会等の開催

(環境専門委員会委員長 大塚 宣昭)